



沖縄振興開発金融公庫
理事長 松田浩二

昨年は、建築着工の減少、急激な原油・原材料価格の変動等、県内の中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は非常に厳しいものがございました。また、サブプライムローン問題に端を発した金融不安から世界的に不況の様相を呈する中、国内、県内景気もその影響を受け、回復には相当の期間を要するのではないかと見られています。

そのような中、貴商工会連合会が中心となり各市町村商工会に「中小零細企業緊急金融特別相談窓口」を設置され、中小・小規模事業者からの金融相談に対してきめ細かい対応に努めておられることに対しまして、深く敬意を表します。

沖縄公庫としましても、建築着工減少等により影響を受ける建築関連の中小・小規模事業者の方に対する「建築関連特別相談窓口」や原油・原材料価格等高騰の影響を受けた事業者の方に対する「安心実現のための緊急総合対策」中小企業金融特別相談窓口等を設置するとともに、事業者の皆様のニーズに対応するため、セーフティネット貸付及び第三者保証人不要融資制度等の拡充を行い、中小・小規模事業者の皆様の資金繰りの支援に努めてきたところであります。

また、昨年実施しました公庫事務所外での個別融資相談会「日公庫」につきましては、各市町村の商工会と連携して、

本年も積極的に推進してまいります。私ども沖縄公庫は、これからも県内における唯一の政策金融機関として、資金の安定供給、各種情報の提供等により、迅速なサービスの提供に努め、沖縄県商工会連合会並びに各市町村商工会と連携し地域の中小・小規模事業者の皆様のお役に立てるよう取組んでまいります。

最後になりましたが、本年が沖縄県商工会連合会及び関係者の皆様にとって実りのある躍進の年でありますようお願いいたします。新年のご挨拶といたします。



株式会社琉球銀行
頭取 大城勇夫

ける金融危機の深刻化や株式・為替市場の大幅な変動も相まって景気はさらに弱まりました。今年は世界的な金融危機の深刻化、世界景気のさらなる下振れなどを受けて、雇用情勢の悪化も含めて、全国的に景気の状態は厳しいものとなることが予想されます。

明けましておめでとうございます。旧年中は、当行の業務に対して格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の国内経済は、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカの景気後退が顕著となり、年後半には欧米にお

優位性があり、その優位性をさらに高め、付加価値化することにより雇用の拡大に繋げるなど、県内景気の下支えを図ることが求められます。

当行は「昨年から中期経営計画「CHALLENGE 51」をスタートさせておりますが、昨年は「住宅ローンを含む消費者ローンの推進」、「中小企業向けローンの推進」、「預金商品預かり資産の販売」、「新金融サービスの提供」の四つのコア・リテール・ビジネスを強化してまいりました。特に事業承継等の「新金融サービス」は県内金融機関の中では当行が先行している分野であり、また、中小企業向け貸出についても、セーフティネット保証を活用した取り組みを強化しております。本年も当行は、県内金融機関のリーダー

ングバンクとして、地域密着型金融を推進し、地域経済の振興、発展に寄与してまいります。

おかげさまで当行は昨年、創立六十周年を迎えることができました。これまでも永年にわたり、当行とお取り引きして下さった多くのお客様や株主の皆様にご感謝申し上げます。今年も中期経営計画の最終年度であり、中期経営計画の着実な実践を通して、従来の伝統的資金仲介業から脱皮し、お客様のニーズに幅広く対応できる「問題解決型銀行」への展開を加速させていきたいと思っております。

今後とも、皆様のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健康とご繁栄を祈念いたします。

平成二十一年元旦